

2026年6月26日

各位

SBIホールディングス株式会社
SBIネオメディアホールディングス株式会社
株式会社フジ・メディア・ホールディングス

**SBIグループとフジ・メディア・ホールディングスによるメディア・コンテンツ領域
における戦略的資本業務提携に向けた協議・検討開始のお知らせ**

～ 「好き」と「共感・熱狂」を価値につなげる“感情経済圏”の共同構築へ～

SBIホールディングス株式会社（本社:東京都港区、代表取締役会長兼社長:北尾吉孝、以下「SBIH」）およびSBIネオメディアホールディングス株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長:深澤裕、以下「SBI NMH」）は、株式会社フジ・メディア・ホールディングス（本社:東京都港区、代表取締役社長:清水賢治、以下「FMH」）との間で、現在の資本の関係に加え、メディア・コンテンツ領域における戦略的業務提携の実現に向けた協議・検討（以下「本協議・検討」）を開始したことをお知らせいたします。

本協議・検討は、SBIグループが推進する「ネオメディア戦略」と、FMHグループが掲げる経営ビジョン「好きでつながる明日をともに」を掛け合わせ、コンテンツへの共感・信頼・熱狂といった感情を起点に、両グループの企業価値向上に資する新たな経済活動を生み出す“感情経済圏”の構築を目指すものです。

両グループは互いの経営資源を活用し、メディア・コンテンツ領域における新たな価値創造と企業価値向上の実現に向け、事業基盤、顧客接点、コンテンツ・IP、金融・デジタル技術を活用した協業の可能性について協議・検討を進めてまいります。



1. 本協議・検討の背景と目的

SBI NMHは、スポーツ・エンタテインメント・IP・メディア領域における国内外の有力パートナーとの連携を通じ、SBIネオメディア生態系を構築しています。同生態系は、単なるメディア企業群ではなく、IPの創出・製作・発信・拡散・収益化・ファンコミュニティ形成に加え、金融・投資機能との接続までを一気通貫で支援し得る事業基盤です。IPを

起点に人々の共感や熱狂を生み出し、それらを SNS やメディア、イベント等を通じて可視化・拡散することで、コミュニティ形成や新たな経済活動の創出を目指しています。SBI グループは、このような感情の循環から生まれる新たな経済基盤を「感情経済圏」と位置付けており、同生態系を金融サービス、投資機能、AI、Web3 基盤等と接続することで、コンテンツや IP を起点とした新たな経済圏の形成を目指しています。

一方、FMH グループは、本年 5 月に新中期経営計画「Group Vision 2026-2030 Ver. 1.0」を発表しました。その中で示した新たな経営ビジョン「好きでつながる明日をともに」のもと、コンテンツへの興味や好感から生まれる「好き」を起点に、人と人が安心してつながる未来をつくり出すべく、メディアを持つコンテンツカンパニーである強みを生かし、コンテンツを生み出し、届け、拡張する一気通貫モデルによる成長を目指すことを発表しました。このモデルは、外部の有力 IP やパートナーにとって有益で魅力的なエコシステムとして、多様な共創を図っていく方針です。

こうした FMH グループの改革および成長戦略と、SBI NMH が構築を進めるネオメディア生態系を中核とする SBI グループのネオメディア戦略は、高い親和性を有するものです。生活者の「好き」という感情や、イベント・IP・タレント・地域に対する「共感・熱狂」を、継続的な参加、購買、応援、投資、地域消費、コミュニティ形成等の経済行動につなげるとともに、国内外のファンとの接点を拡大し、人と人、人とコンテンツ、人と地域が持続的につながることで、“感情経済圏”に象徴されるような新たな事業基盤の構築を目指すべく、協業の検討を進めてまいります。

2. 協議・検討中の提携内容

本協議・検討においては、SBI グループおよび FMH グループがそれぞれ有する事業基盤、メディア・コンテンツ領域における知見、顧客接点、デジタル技術、投資・金融機能等を相互に活用し、両グループの企業価値向上に資する戦略的な協業の可能性について幅広く検討してまいります。

具体的には、以下のような領域を中心に協議・検討を進めてまいります。

(1) コンテンツ・IP 関連領域における投資・事業開発

SBI ネオコンテンツファンドへの出資可能性やコンテンツファンドにおける投資先の選定において両グループの知見を活用することを含む、コンテンツ・IP 領域における投資・事業開発面での連携可能性について検討します。

(2) リアルイベント・地域活性化領域における連携

FMHグループが保有する大型イベントの企画制作における知見と、SBIグループが提供できる金融機能、およびSBI NMHのネオメディア生態系が有する音楽イベント、ファッションイベント、タレント、SNSマーケティング、地域活性化関連機能を組み合わせることで、スポーツ、音楽、アニメ、ゲーム、地域文化等の領域において、放送・配信・リアルイベント・スポンサーシップ・地域消費・ファンコミュニティ等を組み合わせた新たな事業機会の創出可能性について検討します。

(3) デジタルサービス・顧客接点における連携

SBIグループが構想・開発を進めるスーパーアプリ「SBI金融エージェント」を含む各種デジタルサービスとの連携可能性についても検討し、金融サービスに加えて、情報収集、学習、エンタテインメント、イベント参加等をシームレスに体験できる新たな顧客接点の創出を目指します。

「SBI金融エージェント」は、銀行、証券、保険、資産運用、暗号資産、メディア等を横断し、ユーザー一人ひとりに寄り添う顧客接点を目指すものです。本協議・検討においては、FMHグループが有するエンタテインメント、イベント、地域情報、教育・ライフスタイル等の領域におけるコンテンツ制作・発信力と、SBIグループおよびSBI NMHが有する顧客接点・デジタルサービス基盤を組み合わせることで、日常的に楽しみ、学び、参加できる新たなユーザー体験の創出可能性について検討してまいります。

(4) コンテンツ・IPを活用した広告・マーケティング領域での連携

テレビ・配信・SNS・リアルイベント・金融顧客接点を横断した、立体的なマーケティング施策の実現を目指し、FMHグループが有する放送・配信・イベント・広告関連の知見と、SBI NMHのネオメディア生態系が有するSNSマーケティング、タレント、インフルエンサー、イベント、デジタルメディア等の機能を組み合わせ、コンテンツ・IPの認知拡大、ファン化、収益化に資するマーケティング施策の可能性を検討します。

(5) コンテンツ・IPのST（セキュリティトークン）化を含む新たな流通形態

コンテンツ・IPへの資金供給手段の多様化、ファン・投資家の参加機会の拡大、クリエイター・権利者への還元モデルの高度化を目指し、SBIグループが有するセキュリティトークン、ブロックチェーン、デジタルアセット関連の知見を活用したコンテンツ・IPに関する新たな資金供給、流通、ファン参加、収益還元モデルの可能性を検討します。

このようにIP・番組・イベント等を起点として生まれる人々の共感、信頼、熱狂といった感情を、消費、参加、投資、コミュニティ形成等の経済行動につなげ、“感情経済圏”に象徴されるような新たな事業モデルの可能性を幅広く検討してまいります。

今後、両グループは必要な体制を整備し、定期的な協議を通じて早期かつ実効性のある連携施策の具体化を検討してまいります。

なお、現時点において、本協議・検討に関し、具体的な提携内容、対象事業、出資の有無、出資時期、出資金額、個別サービスへのコンテンツ提供、共同イベントの実施その他の詳細について決定した事実はありません。今後、協議・検討が進展し、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

3. 各社の概要

名称	SBI ホールディングス株式会社
所在地	東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 北尾吉孝
事業内容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等

名称	SBI ネオメディアホールディングス株式会社
所在地	東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 深澤裕
事業内容	SBI グループのメディア・エンタテインメント・マーケティング事業の統括

名称	株式会社フジ・メディア・ホールディングス
所在地	東京都港区台場二丁目 4 番 8 号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清水賢治
事業内容	認定放送持株会社

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

SBI ネオメディアホールディングス株式会社 IR・サステナビリティ推進室

sbinmh_isdo@sbineo.media

株式会社フジ・メディア・ホールディングス 広報 IR 局

ir@fujimediahd.co.jp